ひかりのこ

４月園だより

認定こども園
聖ミカエル幼稚園
２０２６年４月８日

一人ひとりの輝きを大切に
新しい1年がはじまります

園庭の小さな桜の木の芽もちょっぴり膨らみ、心地よい春の風が吹く季節となりました。お子さまのご入園、ご進級を心よりお祝い申し上げます。

今年度より、園長を務めさせていただきます、小澤暢子（おざわのぶこ）です。元気いっぱいに登園してくる子どもたちのキラキラした瞳に出会うことができ、これから始まる毎日に大きな喜びと責任を感じております。

聖ミカエル幼稚園では、日々の生活や、お祈りを通じて「自分は愛されているんだ」という安心感と、「お友だちも自分と同じように大切な存在なんだ」という思いやりの心を育てます。子どもたち一人ひとりが持つ「その子らしさ」は、神さまからの素敵な贈り物です。元気いっぱいに走り回る子、じっくりと虫を観察するのが好きな子、誰かの気持ちにそっと寄り添える優しい子。みんなそれぞれに、違った色や形の美しい光を放っています。「光の子らしく歩む」とは、決して完璧であることや、何でも上手にできることを意味するのではありません。神さまに愛されているという絶対的な安心感の中で、自分らしくのびのびと輝くこと。そして、その温かい光を、周りのお友だちにも分け合える優しい心を育むことです。私たちは、その輝きを、大切に伸ばしていきたいと考えています。

４月は、子どもたちにとっても保護者の皆さまにとっても、生活の大きな節目です。朝の送り出しの際、涙してしまうお子さまの姿を見て、胸を痛める親御さんもいらっしゃるかもしれません。どうか安心してください。保護者の皆さまと離れて頑張っているその涙も、子どもたちが新しい一歩を踏み出している証拠です。私たちはその小さな勇気を受け止め、一日も早く園が「大好きな場所」になるよう、笑顔と愛情をたっぷり注いでまいります。

迷ったとき、困ったとき、園を「実家」や「大きな家族」だと思って、いつでも頼ってください。私たちは、保護者の皆さまにとって、最も身近な理解者でありたいと願っています。

園長の交代により、ご不安に感じられる保護者の方もいらっしゃるかもしれませんが、園には頼もしい先生方がそろっております。これからも職員一同、力を合わせて子どもたちの成長を支えてまいります。

１年間、どうぞよろしくお願いいたします。

園長　小澤　暢子

命の光に導かれる新しい歩み

チャプレン　司祭　ノア　上平　更

新しい春を迎え、入園されたお子さまと保護者の皆さま、そして一回り大きく成長して進級された園児の皆様、誠におめでとうございます。

聖書には、「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇を歩まず、命の光を持つ」（ヨハネによる福音書8章12節）という約束が記されています。入園や進級という大きな環境の変化は、子どもたちにとって喜びであると同時に、未知の世界、小さな不安、「闇」を感じる瞬間でもあります。保護者の皆さまにとっても、我が子が新しい環境に馴染めるだろうかと、期待の中に一抹の不安を抱いておられる時期だと思います。

聖ミカエル幼稚園は、皆さまと、主イエスの希望の光を頼りに、期待と不安を分かち合い、共に歩んでまいりました。

新しく入園されたお子様にとっては、先生やお友だちの笑顔が「安心」という光になります。進級したお子様にとっては、下の学年の子を思いやる心が、自らを輝かせる「賜物（たまもの）」という光になります。そして保護者の皆様にとっては、園や教会という子どもたちの成長を見守り続けてきた共同体が、子育ての悩みを共に分かち合う「支え」という光となれればと願っております。

「光の子として歩む」とは、常に完璧に輝き続けることではありません。時には雲に覆われるような日があっても、その奥にある「命の光」を信じて、一歩ずつ進んでいくことです。

これからの園生活が、神様の豊かな光に照らされた、希望に満ちたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

初めまして！新しく園長になりました小澤暢子です

誕生日：１９６５年１１月２日蠍座B型
生まれたところ：天使病院
見た感じ：強そう.でもノミの心臓
しゅみ：写真・筋トレ
好きなプロテインの味：チョコレート
楽しみなこと：園庭での水遊び
目標：みなさんに早く顔を覚えてもらうこと